

JICA (PC) 第 3 -02001 号
平成 17 年 3 月 2 日

環境社会配慮審査会
委員長 村山 武彦 殿

独立行政法人 国際協力機構
理事 小島 誠二

環境社会配慮審査会への諮問について

JICA 環境社会配慮ガイドライン 2.4 の規定に基づき下記事項につき諮問いたします。

記

1. 件名

諮問第 5 号「カンボジア国第二メコン架橋建設計画調査」第二フェーズ
における環境社会配慮調査のスコーピング

2. 資料・報告書

- (1) 環境社会配慮調査 (EIA レベル) のスコーピング案
- (2) インテリムレポート (第一フェーズ)

以 上

平成 17 年 4 月 5 日

独立行政法人 国際協力機構
理事 小島 誠二 殿

環境社会配慮審査会
委員長 村山 武彦

諮問第 5 号に対する答申について

JICA 環境社会配慮ガイドライン 2.4 の規定に基づき、諮問第 5 号「カンボジア国第二メコン架橋建設計画調査」第二フェーズにおける環境社会配慮調査のスコーピングについて、別紙のとおり答申いたします。

コメントの種類に応じて、答申内容を協力事業に反映するよう、お取り計らい下さい。

なお、当該案件は JICA 環境社会配慮ガイドライン適用以前に開始されたものであるため、答申内容には当該案件の内容を超えた今後の協力事業実施への反映を希望する内容も含まれていることを申し添えます。

以 上

(調査全体に係るコメント)

1. JICAが支援する環境社会調査の位置付けの明示について (要求)

カンボジア側が同国の制度に基づいて実施する環境影響評価の内容・工程とそれに対するJICAの支援との関係を明示するとともに、各調査の名称の標記を整理すること。

2. 調査の初期段階からステークホルダーが参画する試みについて (提案)

本調査において採用された手法、すなわち開発調査の初期段階からステークホルダーが参画し複数の代替案を中立に評価していくという試みは、非常に先進的であり、高く評価されるべきものである。同手法について、今後のフォローや他の事業への応用を検討すること。

(環境社会調査の計画・内容に係るコメント)

3. 環境社会調査の Terms of Reference (TOR) について (提案)

EIAレベルの環境社会調査のTORには、IEEの結果に基づき具体的な調査項目、調査内容、期間、人員体制等を記載すること。

4. 本プロジェクトの影響を受ける人々に関するベースライン調査について(要求)

橋の完成により影響を受ける住民並びにフェリー埠頭付近商業活動者の生活及び経済基盤に関するベースライン調査の項目例を示すこと。

5. 当初の予測を上回る環境社会影響が確認された場合の対応について (要求)

今後なされる EIA レベルの環境社会影響調査において、IEE の予測を大きく上回る環境社会影響があることが判明した場合には、再度綿密な代替案の検討を行うこと。

6. 環境・社会配慮に関する法制度のレビューについて (要求)

IEE の結果を踏まえカンボジアにおける環境・社会配慮に関連する法制度の実施状況をレビューすること。

7. 用地取得及び非自発的住民移転に係る調査・検討について (要求)

用地取得及び非自発的住民移転が実施される場合には、下記について調査・検討を行い報告書に記載すること。

- ・適用されるカンボジアの法律について、その解釈及び過去の運用を含めた実施状況
- ・マーケット・プライスに基づく適正な補償額の検討とその根拠の提示
- ・土地所有者、非土地所有者、そして不法居住者の補償に係る法的権利
- ・非土地所有者や不法居住者も対象に含めた、妥当な移転・補償計画の枠組みの策定
- ・その他、本事業の実施によって不便・不利益を被る人々に対する補償の検討

8. 複数の関連項目の総合的な分析について（要求）

非自発的住民移転、地元経済、社会的・経済的弱者の権利等、複数の関連項目について正及び負の影響について総合的な分析を行うこと。またその際には女性、子ども、障害者、貧困層等、社会的に弱い立場にある人々に対し慎重な配慮を行うこと。

9. 絶滅危惧種を含む生態系に対する配慮について（要求）

自然環境への影響の調べる際には、対象地域周辺の絶滅危惧種を含む生態系に対して特に慎重な配慮を行うこと。

10. 失業問題の可能性及び対策の検討について（提案）

フェリー廃止に伴う失業者を含む失業者増加の可能性について確認し、その可能性がある場合には有効な対策を講じておくこと。

11. 地域経済維持のための方策について（要求）

架橋終了後の最終的な地域経済像、地域経済活動維持支援方策に関する提案を行うこと。その際に架橋建設期間と供用開始後（フェリー廃止後）について、想定可能な範囲で、マーケットの存続やフェリー埠頭付近の商業従事者への対処方法を検討すること。

12. 環境社会調査の結果を今後の手続きに反映させるための措置について（要求）

本調査における環境社会調査の結果が、今後、本事業に関するカンボジア国内の手続きに確実に反映させるための措置を検討すること。

13. 調査スケジュールについて（提案）

漁業業関連の調査は、漁期に合わせて実施すること。

14. 本格的影響分析と基本的影響分析の定義について（要求）

EIA レベルの環境社会調査に関し、本格的影響分析と基本的影響分析の違いを明示すること。

15. 環境社会面における影響項目の整理について（要求）

環境社会面における影響項目について、「人間の健康と安全への影響」と「自然環境への影響」を分けるなど、より適切な分類区分を検討すること。

16. 大気汚染及び騒音の予測・評価について（要求）

道路供用後に伴う大気汚染及び騒音について、沿道及び近隣居住地への影響を予測・評価すること。

17. 湿地への影響について（提案）

近隣の湿地（Bassac Marsh）に与える影響を調査すること。

18. 木材の違法伐採・取引への影響について（提案）

派生的影響として木材の違法伐採、違法取引が増加する可能性について検討を行うこと。

（報告書に係るコメント）

19. 各代替案の選考の根拠について（その他）

それぞれのオプションについて選考理由を記載すること。

20. 類似事例の紹介について（要求）

きずな橋建設（メコン架橋建設計画）について、Project Affected People に関する基本的な情報を記載すること。

21. 地形図、流域図、植生図の掲載について（要求）

対象地域の地形図、流域図、植生図を掲載すること。

22. 対象地域の動植物の種名の掲載について（要求）

対象地域の動物相、植物相について、種名及び重要性を示すリストを掲載すること。種数が多い場合は、重要種のみを取りまとめたりリストを別途掲載すること。

23. 環境保護区の有無について（要求）

対象地域における環境保護区の有無を明記すること。

24. Interim Report 6.3.1. Study Methodology for IEE Study on Natural Environment（要求）

自然環境調査について下記を明示すること。

(1)引用文献リスト

(2)自然環境調査に従事したメンバーの一覧

(3)調査方法

(4)調査期間

25. Interim Report 6.3.2. Description of Impacts on Natural Environment under Each Alternatives（要求）

影響項目毎の順序とTable 6.3.11～6.3.14の順序に整合性を持たせること。

26. Interim Report 6.3.2. Description of Impacts on Natural Environment under Each Alternatives (要求)

3つの代替案について、案ごとに自然環境の現状と予測される環境影響とを明示すること。

27. Interim Report 6.3.2. Description of Impacts on Natural Environment under Each Alternatives. (1) Description of Baseline Natural Environment. 7)Flora/Fauna (要求)

'Officially, no important flora' という記述について、'officially important'の定義とそれが不在であるとする根拠を記載すること。

28. Interim Report 6.3.3. Summary of Impacts on Natural Environment. (2) Engineering Options and IEE (提案)

ステークホルダー協議で環境負荷と経済的コストに関する情報が提供され、十分に考慮されていたか確認すること。

29. Interim Report 6.3.3. Summary of Impacts on Natural Environment. (2) Engineering Options and IEE (その他)

NR 1 とNR11など接続する幹線道路での援助事業との調整状況を確認すること。

30. Interim Report 6.3.3. Summary of Impacts on Natural Environment. (2) Engineering Options and IEE (提案)

'Flood Free Zone(s)'として扱われる地帯の土地利用に係る制度について記載すること。

31. Interim Report 6.3.2. (1). 7)Flora/Fauna. Table 6.3.11 ~ Table 6.3.14 (要求)

動物相・植物相への影響が「C(低い)」となっていることについて、明確な根拠を示すこと。

32. Interim Report 6.3.3. Summary of Impacts on Natural Environment. Table6.3.11 ~ 6.3.14. (要求)

オプションによって悪臭の影響評価の結果が分かれている理由を説明すること。

33. Interim Report.6.4.3. Summary of Impacts on Social Environment. (8) Conflicts of Interests (提案)

カンボジアにおける土地紛争の事例について、その性質を記述すること。

34. Interim Report 6.4.3. Summary of Impacts on Social Environment. (11) Cultural Heritage. (その他)

建設中に重要な遺跡が発見された場合の対応について言及すること。

以 上